

● 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 基準日	6月 3月31日 なおその他必要があるときは、あらかじめ公告した日
株主名簿管理人	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 〒100-8212
同事務取扱所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話（通話料無料）0120-232-711 ※株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行 の電話およびインターネットでも24時間承っております。 電話（通話料無料） 0120-244-479（本店証券代行部） 0120-684-479（大阪証券代行部） インターネットホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
同取次所	100株
一単元の株式数	日本経済新聞
公告方法	住所、氏名、届出印、法人株主の代表者あるいはその役職名、 届出諸事情の 変更について 商号、配当金の振込口座等の変更は、三菱UFJ信託銀行の本 店・支店*でお手続きください。 ※お手続きについては、株式会社証券保管振替機構に株券を預託 されている場合には、お取引の証券会社にお申し出ください。

● 株主優待制度のご案内

株式会社エイジスは、
株主の皆様への利益還
元のひとつとして株主
優待制度を実施してお
ります。



●割当基準日 9月末日

●優待内容

100株以上1,000株未満所有の株主様

お米券3kgを贈呈いたします。

1,000株以上10,000株未満所有の株主様

お米券5kgを贈呈いたします。

10,000株以上所有の株主様

お米券10kgを贈呈いたします。

第32期 中間報告書

平成20年4月1日から平成20年9月30日まで



“Low Cost Operation” 時代の棚卸システム

aji'sエイジス

aji'sエイジス

株式会社エイジス

〒262-0032 千葉県千葉市花見川区幕張町4-544-4
TEL：043-350-0888 FAX：043-350-0800

●コーポレートマークの由来

ロゴマークは、ローマ字・キータッチ・カタカナの三位体で構成されています。またエイジスのコーポレートカラーである白・青・赤は、白=お客様に対して誠実に仕事をする姿勢、青=冷静・沈着な作業態度、そして赤=エイジスマン・ウーマンの胸に秘めた情熱を表しています。





品質の向上・生産性向上に向けた積極的な取組みを継続。 チェーンストア拡大傾向を追い風に さらなる飛躍を目指します。

代表取締役社長 斎藤昭生

Q

世界的な金融混乱・景気の減速を 追い風として

世界的な景気の減速が懸念されている中であって、株主の皆様方のご支援と社員一丸となって努力した甲斐があり、当上期の連結売上高は、前年同期比6.3%の増収となる9,258百万円を達成することができました。

実地棚卸サービス事業では、G.M.S.とアパレル等のその他の業態が伸長し、コンビニエンスストアでは実施エリアが拡大するなど、順調に推移しました。しかし、実地棚卸サービス事業では、上期導入が予定されていた大型案件が下期にずれこんだこと、また、人材派遣事業では、前期実施した大手顧客の剥落分があったことより、前年同期比で804百万円の増収となりましたが、期初計画には未達となりました。

利益面では、連結上期営業利益は計画比1.6%増となる1,053百万円（前年同期比2.6%減）、連結上期純利益としては603百万円（前年同期比7.4%減）となりました。

また、世界を席卷している金融市場の混乱が、当社の事業に大きな影響を与えるとは考えておりません。今後の厳しい経済局面において、生き残る企業の条件は、体力があり多店舗展開のできるチェーンストア志向企業に集約されていくものと考えられます。こうした流れの中で、流通業界の

再編が加速され、全国展開・チェーン化が進めば、当社のビジネスチャンスが拡大します。なぜなら、当社は棚卸サービスで国内で唯一全国網を持ち、大量動員とともに高品質で均一なサービスを提供できる、高い競争力があるからです。

Q

今後のさらなる成長に向けた 三つの成長戦略

厳しい経済環境の中で、流通業が低価格路線へと回帰し、ローコストオペレーションを加速することは、エイジスにとって需要を拡大するチャンスとなります。そのために、我々は三つの成長戦略を掲げております。

まず、圧倒的な強さを誇る棚卸ビジネスのさらなる強化策として、棚卸サービスの精度・生産性の向上を推進します。独自の棚卸技術を確認し「徹底力」の強化と人材投資、システム投資を積極的に行ってまいります。

また、人材教育にも注力していきます。営業においては、未開拓先への営業に注力し、百貨店や家電量販店との取引拡大にも継続的に取り組んでまいります。

二つ目は、標準化の推進です。新規の顧客が当社のサービスを導入しやすくなるように、棚卸サービスの標準化を促進してまいります。また、今後の成長へ向けて、SKU

化対応と当社独自のノウハウをIT化するために、情報システム部門の開発力を強化します。

そして、営業部門では顧客窓口の人員を増強して、より緻密な顧客対応を推進してまいります。あわせて、営業窓口を営業本部に移行することで、ディストリクトオフィス（D.O.）組織がオペレーションに特化し、棚卸の品質を上げることに集中します。

三つ目は、新マーケットおよび新サービスにおいて業容の拡大を図る取組みです。

エイジスグループは、韓国においても圧倒的なシェアを目指します。また、アジアにおける棚卸事業の展開とリテイルサポートの強化を推進してまいります。

Q

「徹底力」の強化と標準化の推進で 競争力を強化

当社では繁忙期に多くの新人スタッフを採用します。常に高品質なサービスを提供するためには、教育を徹底し、スキルの高い人材を育成することが必要です。

そこで今期は「徹底力」の強化をスローガンとして、棚卸の精度・生産性の向上に取り組んでおります。

新しい棚卸技術を構築しても、徹底して取り組まなければ効果は出ません。そこで、徹底力を強化するために、徹底しやすいシンプルな仕組みを作ることと、習熟効果の高い教育を実施しています。

各人の役割を明確にし、徹底力を強化することで、棚卸の精度と生産性、さらにはマナーを向上させ、競合他社とのさらなる差別化を図ります。あわせて、複雑な処理はできるだけシステム化して、人手による作業を単純化する業務の見直しも推進しております。

また、採用強化の一環として、嘱託社員の正社員への登用、新卒、中途採用を積極化しております。そして、無駄を省いた最適な作業工程の確立と、適正な人員配置を実現させるためのレイバースケジューリングプログラムの開発にも取り組んでおります。

さらに、より多くの数量を正確に瞬時に捉え少ないキータッチで棚卸機器に入力する「ブロックカウント」のトレーニング手法を開発し、一層の生産性向上を目指しております。

Q

リテイルサポートサービスと 海外展開の展望

エイジススタッフサービス（株）では、今後も流通小売業が求めるサービスの種類を拡大してまいります。以前から、棚卸サービス以外の店内作業に関する人材派遣の要望も多く、その需要に応えることで、同社は業容を拡大しております。当社の膨大な顧客基盤を中心に、訓練・組織化された人材を全国に大量動員できる強みを発揮し、集中補充やレジ派遣を中心に受注は増加傾向にあります。

一方、（株）カスタマーサービス・チェックでは、米国のノウハウを導入した、低コストでのオペレーションを確立し、さらなる拡大に向けた戦略を積極的に推進します。また、当社顧客資産活用による業容拡大にも取り組んでおります。

海外展開では、エイジス韓国が順調に成長し、当期中には韓国の棚卸サービス業として売上高No.1の達成を見込んでおります。また、中国のエイジス大連は、今年5月に上海に分公司を設立し、中国における棚卸サービスの提供を開始しました。

Q

安定配当、機動的な資本政策を通じ 株主価値向上へ

当上期は、今後の成長に向けた投資が先行したため、連結営業利益において減益という結果になりましたが、通期では引き続き売上高、営業利益ともに過去最高額を更新する見込みでおります。

当社では株主還元の方法として、安定配当の維持・継続を目指しており、通期の1株当たり配当金は前期と同額の45円を予定しております。

また、当上期では225,554株の自己株式の取得を行っております。今後も経営環境に対応した機動的な資本政策を推進し、株主価値の向上に努めてまいります。

エイジスグループは今後も棚卸サービス事業やリテイルサポートサービスを通じて日本・アジアの流通業の発展に貢献し、持続的な成長を実現してまいります。株主の皆様にはさらなるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

（注）G.M.S.：大衆実用品のうち、新機能開発品主力の総合店。いわゆる日本型総合スーパーのことです。
ディストリクトオフィス（D.O.）：当社の全国にある営業所のことです。

加速するエイジスのグローバル展開

中国ナンバーワンを目指し エイジス大連・上海オフィスが 棚卸サービスをスタート!

成長する中国小売市場で 棚卸サービスの積極展開をスタート

2008年5月、当社100%子会社のエイジス大連が上海オフィスを開設、成長する中国の小売市場で棚卸サービスをスタートしました。

アジア市場の成長性を捉えたグローバル展開の第一歩として設立したエイジス韓国は順調に業績を伸ばし、当期中には韓国でNo.1のシェアを獲得する予定です。当社の海外展開は、この成功に続き、アジアでの事業をさらに拡大していくものです。

グローバル進出の第一歩 韓国エイジスの成長

エイジス韓国は、2003年5月から棚卸サービスの提供を開始しました。設立後は、E マートや三星テスコ、ロッテ等の大手チェーンとの契約が締結し、業績は好調に推移して

おります。2007年9月にはハイテク都市テジョンにテジョンサテライトを開設。さらに当上期には大手コンビニエンスストアとの取引を開始し、これにより韓国でのシェアNo.1を目指し、さらなる業容拡大を目指しております。

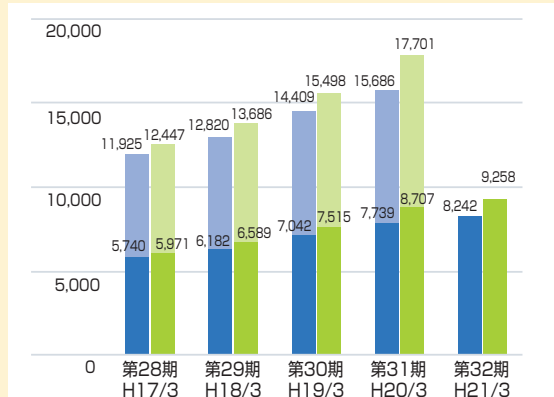
中国No.1 を目指し 上海オフィスの稼働を開始

韓国に続き中国でも、トップシェアを目指すために、2004年4月に現地法人エイジス大連を設立し、中国棚卸サービス準備室により、中国進出への研究を行ってまいりました。そして今年5月に、上海市に分公司を設立し、中国における棚卸サービスの提供を開始、大きなポテンシャルを秘めた新市場への挑戦を開始しました。

今後も、アジア地域に展開するチェーンストアを積極的にサポートしていくことで、アジア全域へネットワークを拡大し、グローバル戦略を推進してまいります。

売上高

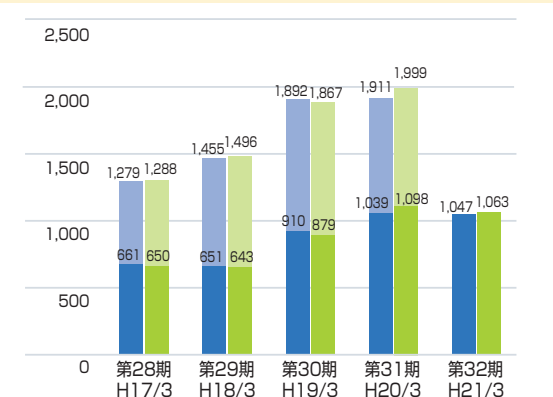
(単位：百万円)



新規顧客の獲得および既存顧客の受注増に加え、海外事業の拡大により、当中間期の連結売上高は前年同期比6.3%増の9,258百万円となりました。

経常利益

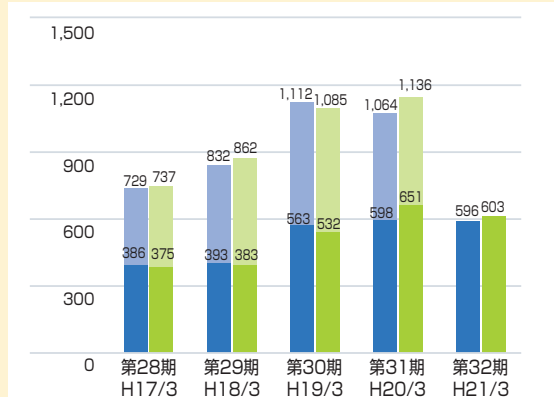
(単位：百万円)



組織強化のための人材採用、システム投資および営業拠点増による経費増加により、当中間期の連結経常利益は前年同期比3.1%減の1,063百万円となりました。

中間（当期）純利益

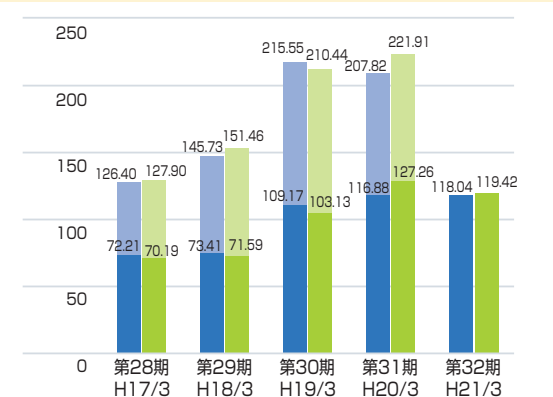
(単位：百万円)



連結中間純利益は前年同期比7.4%減の603百万円となりました。

1株当たり中間（当期）純利益

(単位：円)



連結中間純利益の減少により、連結1株当たり中間純利益は前年同期の127.26円から7.84円減少し、119.42円となりました。

単体 ■ 中間期 ■ 通期 連結 ■ 中間期 ■ 通期

当期の概況（連結）

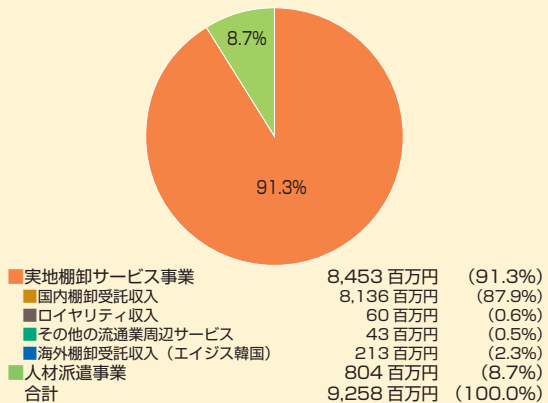
当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱に加え、原油をはじめとする原材料価格の高騰が企業収益の悪化を招き、景気の減速傾向が一段と顕著となりました。

当社の主要顧客であります流通業界は、業態を超えた競争の激化等により、依然厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社は顧客のローコストオペレーションを側面からサポートするために、棚卸サービス事業においては、積極的な顧客開拓を図ると共に、競合他社との差別化を図るため、特に棚卸精度の向上に注力してまいりました。また、レジ派遣および集中補充をはじめとするリテールサポートサービスの拡大にも注力し、顧客のニーズに対応してまいりました。

なお、当社グループの売上高の特徴として、国内実地棚卸サービス事業の閑散期である第1四半期連結会計期間および第3四半期連結会計期間の売上高は少なく、国内の主要な顧客である流通業界の決算が集中する第2四半期連結会計期間および第4四半期連結会計期間は繁忙期となり売上高が多くなる傾向があります。

事業の区分別売上高（構成比）



セグメント別の概況

【実地棚卸サービス事業】

実地棚卸サービス事業の業績は、国内実地棚卸サービス事業において、その他の業態に属する既存顧客の受注増などにより、売上高は8,453百万円、営業利益は1,032百万円となりました。

実地棚卸サービス事業の内訳は下記のとおりです。

【国内棚卸受託収入】

国内棚卸受託収入の売上高は8,136百万円となりました。業態別の内訳は下記のとおりです。

（コンビニエンスストア）

既存顧客の受注増により、売上高は1,700百万円となりました。

（スーパーマーケット）

既存顧客の受注増により、売上高は1,119百万円となりました。

（ホームセンター・ドラッグストア・ディスカウントストア）
新規顧客の獲得および既存顧客の受注増により、売上高は1,704百万円となりました。

（書店）
売上高は528百万円となりました。

（G. M. S.）（注）
既存顧客の受注増により、売上高は1,161百万円となりました。

（その他）
新規顧客の獲得および既存顧客の受注増により、売上高は1,920百万円となりました。

（注）G.M.S.（General Merchandise Store）…大衆実用品のうち、新機能開発品主力の総合店。いわゆる日本型大型総合スーパーであります。

【ロイヤリティ収入】

ロイヤリティ収入は60百万円となりました。

【その他の流通業周辺サービス】

その他の流通業周辺サービスの売上高は43百万円となりました。

【海外棚卸受託収入（エイジス韓国）】

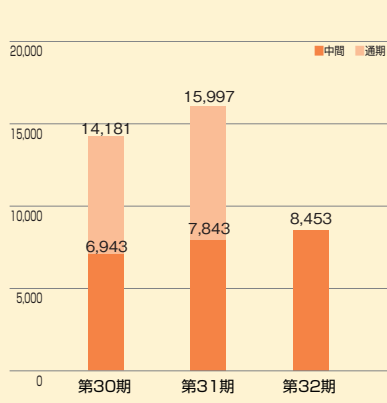
海外棚卸受託収入の売上高は大手新規顧客の獲得により、213百万円となりました。

【人材派遣事業】

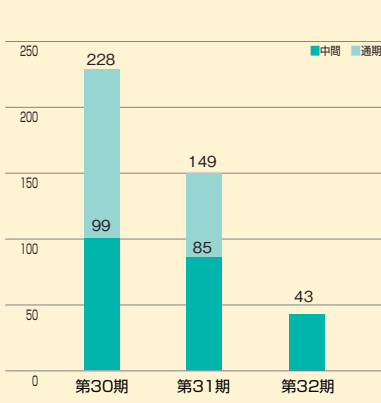
人材派遣事業の業績は、流通業の大手顧客の獲得により、売上高は804百万円、営業利益は16百万円となりました。

この結果、第2四半期連結累計期間売上高は9,258百万円、営業利益は1,053百万円、経常利益は1,063百万円、四半期純利益は603百万円となりました。

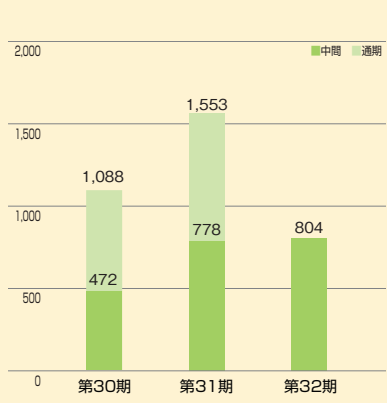
実地棚卸サービス事業売上高（単位：百万円）



その他の流通業周辺サービス事業売上高（単位：百万円）



人材派遣事業売上高（単位：百万円）



中間連結貸借対照表（要旨） （単位：百万円）			
	当中間期 H20.9.30現在	前中間期 H19.9.30現在	前 期 H20.3.31現在
資産の部			
流動資産	5,125	5,681	5,487
固定資産	2,833	2,261	2,729
資産合計	7,958	7,942	8,217
負債の部			
流動負債	2,388	2,544	2,373
固定負債	111	121	113
負債合計	2,499	2,665	2,487
純資産の部			
株主資本合計	5,485	5,247	5,731
資本金	475	475	475
資本剰余金	489	489	489
利益剰余金	5,743	4,885	5,370
自己株式	△1,223	△602	△602
評価・換算差額等合計	△48	8	△23
少数株主持分	22	21	21
純資産合計	5,459	5,277	5,730
負債純資産合計	7,958	7,942	8,217

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書（要旨） （単位：百万円）			
	当中間期 H20.4.1～H20.9.30	前中間期 H19.4.1～H19.9.30	前 期 H19.4.1～H20.3.31
売上高	9,258	8,707	17,701
売上原価	6,880	6,380	13,213
売上総利益	2,377	2,326	4,487
販売費及び一般管理費	1,323	1,243	2,513
営業利益	1,053	1,082	1,973
営業外収益	26	23	40
営業外費用	16	7	14
経常利益	1,063	1,098	1,999
特別損失	0	1	4
税金等調整前四半期純利益	1,062	1,096	1,995
法人税等	457	444	860
少数株主利益	1	—	—
中間（当期）純利益	603	651	1,136

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書（要旨） （単位：百万円）			
	当中間期 H20.4.1～H20.9.30	前中間期 H19.4.1～H19.9.30	前 期 H19.4.1～H20.3.31
営業活動によるキャッシュ・フロー	685	673	1,393
投資活動によるキャッシュ・フロー	△240	△262	△972
財務活動によるキャッシュ・フロー	△849	△219	△219
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	△1	△4
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△408	191	196
現金及び現金同等物の期首残高	2,777	2,548	2,548
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	32	32
現金及び現金同等物の中間期末（期末）残高	2,368	2,772	2,777

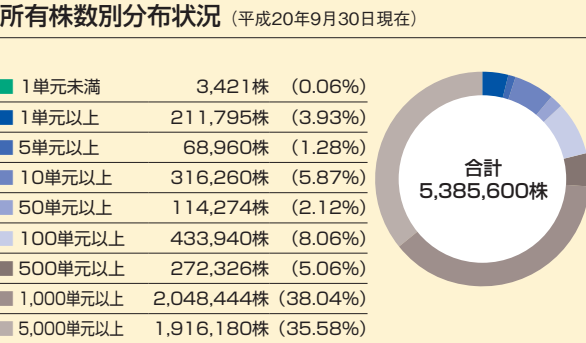
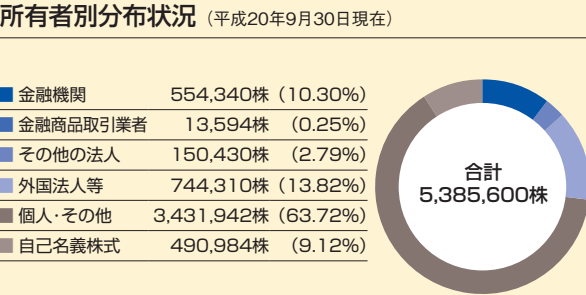
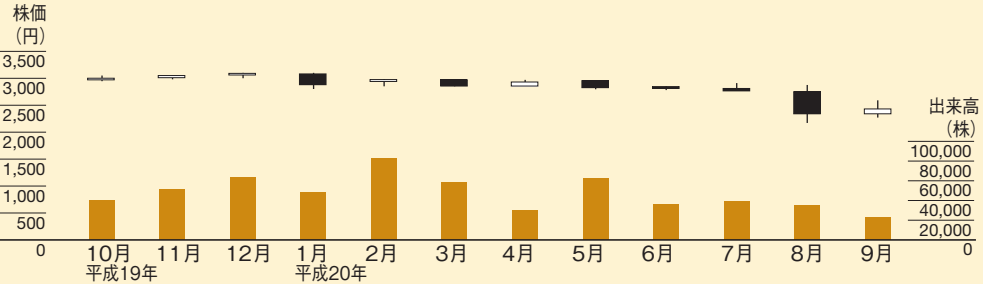
（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況（平成20年9月30日現在）	
発行可能株式総数	14,000,000株
発行済株式の総数	5,385,600株
株主数	2,038名

大株主（上位10名）（平成20年9月30日現在）		
株主名	当社への出資状況	
	持株数（株）	出資比率（%）
斎藤陽子	678,800	12.60
斎藤昭生	677,780	12.58
斎藤茂昭	559,600	10.39
ビービーエイチフォーフィデリティー ロープライスストックファンド	328,000	6.09
斎藤泰範	269,170	4.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	266,100	4.94
ノーザントラストカンパニーエイプイエフシー ノーザントラストガンジーノントリーティークライアンツ	252,790	4.69
小林美保子	175,500	3.25
斎藤茂男	165,400	3.07
メロンバンクエヌエートリーティ ークライアントオムニバス	100,500	1.86

（注）当社は、自己株式490千株を保有しておりますが、当該株式には議決権がないため上記大株主から除外しております。

株価・出来高の推移



会社概要（平成20年9月30日現在）

会 社 名	株式会社エイジス (英文名 AJIS CO.,LTD.)
資 本 金	475百万円
設 立 年 月 日	1978年5月23日
従 業 員 数	240名 (270名 ※連結)
営 業 拠 点	直営52ヶ所 FC31ヶ所 (合計83ヶ所)
業 務 内 容	●実地棚卸サービス ●その他の流通業周辺サービス
主要取引銀行	●三菱東京UFJ銀行 千葉支店 ●みずほ銀行 千葉支店 ●三井住友銀行 千葉支店
ホームページ	http://www.ajis-group.co.jp/

取締役および監査役（平成20年9月30日現在）

取 締 役 会 長	芦 部 克 生
代表取締役社長	斎 藤 昭 生
常 務 取 締 役	近 江 元
常 務 取 締 役	山 地 琢 巳
取 締 役	竹之下 正 夫
取 締 役	高 橋 一 人
取 締 役	秋 葉 孝
取 締 役	五十嵐 亨 司
取 締 役	戸 丸 富志夫
取 締 役	山 根 洋 行
取 締 役	森 和 弘 ※
常 勤 監 査 役	鈴 木 行 雄
監 査 役	安 田 登

※森 和弘は、会社法に定める社外取締役であります。

主要取引先（平成20年9月30日現在）

コンビニエンスストア		
エーエム・ピーエム・ジャパン	セーブオン	ファミリーマート
サークルK サンクス	セブン-イレブン・ジャパン	ミニストップ
スリーエフ	デイリーヤマザキ	ローソン
G.M.S.スーパーマーケット		
イオンリテール	サンセブン	マイカル
イズミ	西友	マックスバリュ
イズミヤ	ダイエー	マルエツ
イトーヨーカ堂	大黒天物産	万代
いなげや	東急ストア	みやぎ生協
オークワ	トヨタ生協	ヤオコー
オギノ	とりせん	ヤマザワ
オリンピック	長崎屋	ヤマナカ
カスミ	原信	ユーコープ事業連合
関西スーパーマーケット	パロー	ヨークベニマル
コープこうべ	平和堂	ライフコーポレーション
コープネット事業連合	ベイシア	
サミット	ベルク	
百貨店		
大丸	阪急百貨店	松屋
高島屋	阪神百貨店	丸井
天満屋	松坂屋	三越
ホームセンター/ドラッグストア/ディスカウントストア		
アライドハーツ・ホールディングス	コーナン商事	トステムビバ
ウェルパーク	サンドラッグ	富士薬品
カーマ	CFSコーポレーション	PLANT
カインズ	島忠	ホームック
カワチ薬品	スギ薬局	マツモトキヨシ
クスリのアオキ	セイジョー	ユタカファーマシー
くすりの福太郎	セキチュー	ユニリ빙グ
クリエイト エス・ディー	ダイユーエイト	ロイヤルホームセンター
ケーヨー	千葉薬品	
ゲンキー	ツルハ	
書店		
あおい書店	三洋堂書店	文真堂書店
旭屋書店	JR東日本リテールネット	丸善
アシーネ	ジュンク堂	宮協書店
グレイジヴァンガードコーポレーション	TSUTAYA	未来屋書店
紀伊國屋書店	阪急テールズ (ブックファースト)	有隣堂
三省堂書店	文教堂	リブロ
その他		
赤ちゃん本舗	コックス	ビックカメラ
愛宕倉庫	ジョルジオ アルマーニ ジャパン	ヒラキ
アディダスジャパン	ゼビオ	藤久
エディー・パウアー・ジャパン	セリア	ポイント
エディオン	大創産業	メガスポーツ
ギャップジャパン	東急ハンズ	やまや
キャンドゥ	東京シャツ	ユニクロ
九九プラス	ドン・キホーテ	ライトオン
クリスチャン ディオール	西松屋チェーン	良品計画
クレアーズ日本	ニトリ	ロフト
コーチ・ジャパン	日本トイザらス	ワークマン
コジマ	パル	ワールド

※敬称・法人格は省略させていただいております。 ※50音順

●株式会社エイジス（平成20年9月30日現在）

青森 D.O.	千葉 D.O.	岡崎サテライト
秋田 D.O.	市原サテライト	名古屋南 D.O.
仙台 D.O.	千葉稲毛 D.O.	四日市 D.O.
盛岡サテライト	柏 D.O.	岐阜 D.O.
山形 D.O.	東京 D.O.	金沢 D.O.
郡山 D.O.	南東京サテライト	富山サテライト
宇都宮 D.O.	東東京 D.O.	大阪 D.O.
小山サテライト	吉祥寺 D.O.	堺 D.O.
水戸 D.O.	八王子 D.O.	東大阪 D.O.
土浦サテライト	立川サテライト	奈良サテライト
新潟 D.O.	横浜 D.O.	京都 D.O.
高崎 D.O.	横浜関内 D.O.	滋賀サテライト
長野 D.O.	厚木 D.O.	神戸 D.O.
松本サテライト	町田サテライト	姫路 D.O.
大宮 D.O.	沼津 D.O.	岡山 D.O.
越谷サテライト	静岡サテライト	松江サテライト
川越 D.O.	浜松 D.O.	
熊谷サテライト	名古屋 D.O.	

●エイジス九州株式会社

広島 D.O.	大分 D.O.	佐賀 D.O.
広島北サテライト	福岡 D.O.	熊本 D.O.
福山 D.O.	福岡東 D.O.	宮崎 D.O.
山口 D.O.	久留米 D.O.	鹿児島 D.O.
下関サテライト	長崎 D.O.	沖縄 D.O.
小倉 D.O.	佐世保サテライト	沖縄北サテライト

●エイジス北海道株式会社

札幌 D.O.	函館 D.O.	帯広 D.O.
札幌中央 D.O.	旭川 D.O.	釧路 D.O.
苫小牧 D.O.	北見 D.O.	厚別 D.O.

●エイジス四国株式会社

高松 D.O.	松山 D.O.
徳島 D.O.	高知 D.O.



●関連会社（平成20年9月30日現在）

- エイジススタッフサービス株式会社（千葉市 人材派遣事業）
仙台/新潟/埼玉/東京/千葉/横浜/名古屋/大阪
- エイジスビジネスサポート株式会社（大韓民国 ソウル特別市 実地棚卸サービス事業）
ソウルD.O./プサンサテライト/デジョンサテライト
- 大連愛捷是科技有限公司
（中国大連市 システム開発および棚卸機器の開発・製造）
（中国上海市 上海分公司 実地棚卸サービス事業）
- 株式会社カスタマーサービス・チェック（千葉市 覆面調査）
- エイジスシステム開発株式会社（千葉市 システム開発）
- (注) D.O. (ディストリクト オフィス) とは営業所のことです。
サテライトとは出張所のことです。